

高校生が作ったページ

¥1,000

# 高校生の おサイフ事情

やっぱり気になるお金のハナシ

お店でステキな文具を見かけたらしらっという手が伸びてしまう。部活帰りのアイスはやめられないし、そういうえばあのCD今日発売だっけ……。

欲しい物はたくさんあるし、お金はいくらあっても足りない。ウチのお小遣いはみんなより少ないんじゃない？なんて駄々をこねたり。

面と向かってはなかなか聞けない、みんなのおサイフ事情を調べてみたいと思い、高校生82人にアンケートを取ってみました。

まずQ1.では、ほとんどの高校生がお小遣いをもらっているのではないかと予想していたので、お小遣いをもらっていない人が19人もいるのは、多いと感じました。

また、Q2.で、お小遣いをもらっている人にその金額を質問したところ、63人が5000円以上と答え、そのうちの57人が月に1回、いわゆる「お小遣い制」という形でもらっていることがわかりました。

Q3.では、アルバイトをしている人が18人で、予想に反し少ないと感じました。その理由としては、アルバイトを原則禁止していたり、許可制をとっている高校が多く、なかなかアルバイトをできない人が多くいることが関係しているのではないのでしょうか。

そして、Q4.で、アルバイトをしている人にその収入を質問したところ、11人が40000円以上という高校生にとって大きな額を稼いでいました。アルバイトをしている人のほとんどが多くの収入を得ているということがわかりました。



お小遣いをもらっているか、小学生(10人)・中学生(55人)・大学生(63人)にも聞いてみました！



## 【収入編】

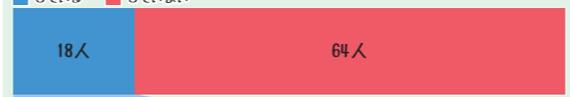
Q1. お小遣いをもらっている？



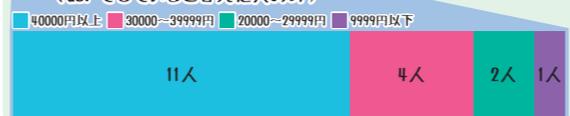
Q2. 1回に貰うお小遣いの金額はいくら？  
(Q1.でもらっていると答えたひとのみ)



Q3. アルバイトをしている？



Q4. アルバイトの収入はいくら？  
(Q3.でしていると答えた人のみ)



## 【支出編】

支出について触れてみましょう。

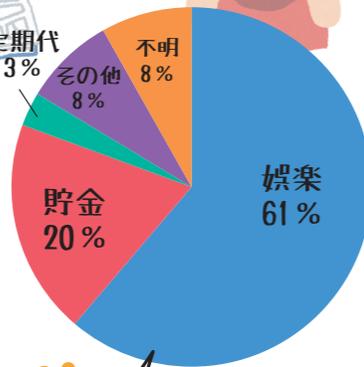
高校生になると中学生の頃比べて使う金額が増えるイメージがあり、さらにアルバイトも出来るようになるため、手にするお金が一気に大きくなる人もいるでしょう。中学生の頃と環境が大きく変わった中で高校生は一体何にお金を使っているのでしょうか。アンケートの結果を見てみるとアルバイトをしている人もしていない人も手にしたお金の大半を娯楽に使う人がほとんどでした。なかでも特に多かった使道は「買い食い」でした。

下校中に友達とコンビニに寄り道したり、時には部活動の遠征や旅行先の駅中商店街でつい買ってしまったりがあるかもしれませんが、

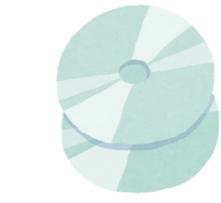
また収入のいくらかを貯金にあてている人や、自身の生活費や定期代、そして携帯電話の料金など生活に必要なお金を捻出している人も少なからずいました。この結果は「高校生も自立していかなければならぬのかもしれない」と思われる結果で衝撃を受けました。

「あなたは何のために貯金をしていますか？」

「支出編」で収入の大半を自身の娯楽に使っている人が多いことがわかりましたが、それは誰もお金を貯金していないということではありません。ほとんどの人が収入のいくらかを貯金していました。貯金の用途は人それぞれですが、「欲しい物を購入するため」「将来(進学など)のため」「趣味のため」といった用途があるなかでこれらと同じくらい多い回答が「特に考えてない」という回答でした。私たちの中では貯金は具体的な目標や目的を持つものだと考えていたので、貯金の目標や目的が曖昧な人が多いという結果は少し意外でした。



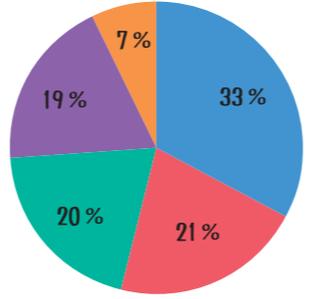
- 娯楽のランキング
- 1位 買い食い
  - 2位 マンガ・本
  - 3位 CD



「私は今後もしものことがあった場合にお金が必要になるように貯金しています！」という人は多いと思います。たしかに急ににお金が必要になる事はあり、高校生の私たちは今後そういつた機会が増えていくことでしょう。そのような不測の事態にぞなえて貯金しておくことも大切だと思います。

しかし、私は具体的な目標を持つての方がより楽しく、有意義な貯金をする事が出来ると思います。あなたは一体の何のために貯金をしていますか？

ぜひ、一度自分の中で考えて欲しいと思います。



### まとめ

今回はおサイフ事情について、高校生だけではなく小中学生や大学生の人などにも非常に多くの回答をいただきました。

お小遣いを毎月もらっている人や、高校生になって自分でやりくりし始めた人、趣味に全財産をつぎ込む人がいる傍ら、堅実に貯金をする人もいて、回答は多岐にわたりました。お金をどう手にするかは人それぞれですが、ひとりひとりがどうすればより良い生活を送れるかを考え、使い道を選んでいるようです。

社会で生きていく限り、お金とは一生の付き合いになります。社会に出るその時に備え、お金の上手な使い方を学んでおくのも良いのではないのでしょうか。